

## トーセ (コード 4728)

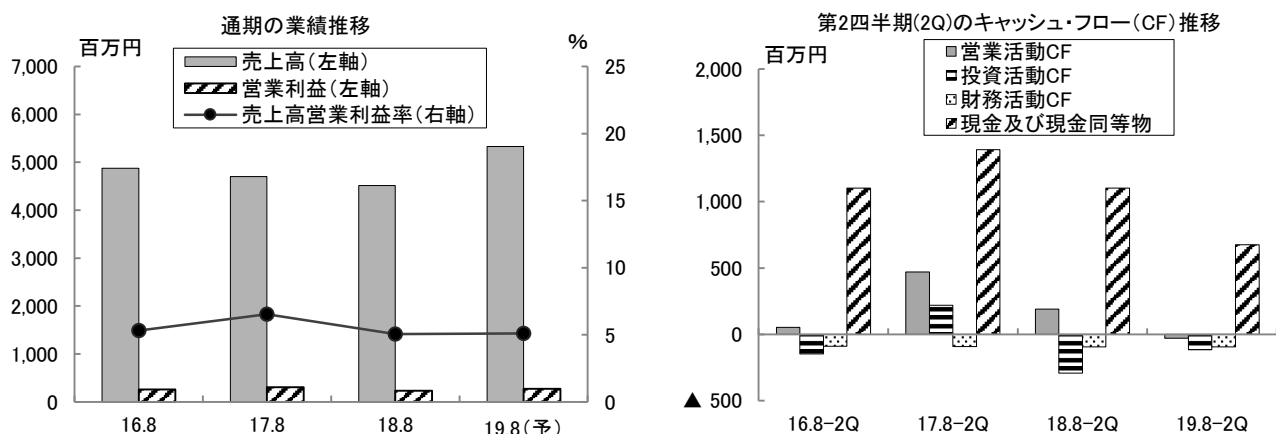
### ◆各決算期の第2四半期業績推移(連結)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
16.8	2,213	72	▲3.1	12.5	52	▲149	▲90	1,102
17.8	1,746	▲54	▲12.1	12.5	469	220	▲92	1,392
18.8	1,889	91	6.4	12.5	190	▲293	▲95	1,102
19.8	1,790	▲4	0.1	12.5	▲30	▲117	▲94	676

### ◆通期業績推移(連結) (19.8 予は会社側予想)

決算期	売上高	営業利益	1株純利益	1株配	営業CF	投資CF	財務CF	現金及び現金同等物
16.8	4,874	259	12.4	25.0	127	▲425	▲175	778
17.8	4,705	307	27.9	25.0	447	192	▲128	1,306
18.8	4,517	228	24.9	25.0	266	▲472	▲189	920
19.8予	5,327	271	25.5	25.0	—	—	—	—

(CF=キャッシュ・フロー。現金及び現金同等物は各期末値。▲はマイナス。単位は百万円、円)



**19年8月期の第2四半期業績概況**…19年8月期第2四半期累計期間(18年9月～19年2月)の業績は、売上高17億9,000万円(前年同期比5.2%減)、営業損失400万円(前年同期は9,100万円の黒字)、経常利益2,500万円(前年同期比77.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益(以下、四半期純利益)100万円(同97.9%減)となった。販売費および一般管理費が前年同期比8.4%増となり、営業損益は赤字に、経常利益、四半期純利益は大幅に減少した。ただ、デジタルエンタテインメント事業において一部の大型のスマートフォン向けゲームの開発案件に関し、顧客の要望によって追加作業が発生し、開発売上が増加したことから、売上高は期初予想値(17億4,000万円)を上回った。また、各プロジェクトにおいて原価低減が図れたことなどから、営業損失額は期初予想の1億3,700万円から大きく縮小。経常利益(期初予想1億700万円の赤字)、四半期純利益(同1億400万円の赤字)はわずかだが黒字となった。1株当たりの当期末配当金は12円50銭となっている。

事業セグメント別売上高は、デジタルエンタテインメント事業16億3,000万円(前年同期比6.7%減)、その他事業1億5,900万円(同12.8%増)。また、デジタルエンタテインメント事業のうち、ゲームソフト関連売上が5億9,900万円(同29.2%増)、モバイルコンテンツ関連売上が9億8,700万円(同7.5%減)、パチンコ・パチスロ関連売上が4,400万円(同79.6%減)となった。

ゲームソフト関連売上では「Nintendo Switch」向けの開発売上が伸長した結果、売上が拡大した。モバイルコンテンツ関連売上では、一部のスマートフォン向けゲームにおいてロイヤリティ売上が伸長したものの、前年同期に比べて運営売上が減少。パチンコ・パチスロ関連の売上については、規制強化の影響によって引き続き厳しい受注環境が続くことが予想される中で、適切な人員配置を行うべく、ゲームソフト関連やモバイルコンテンツ関連に多くの開発人員を投入した結果、売上は大幅に減少した。その他事業については、子会社のフォネックス・コミュニケーションズにおいて、クレーンゲーム事業のロイヤリティ売上が好調に推移した。

キャッシュ・フロー（以下、CF）については、当四半期末の現金及び現金同等物残高は6億7,600万円（前年同期末比38.7%減）となった。営業活動によるCFでは、税金等調整前四半期純利益が2,300万円（前年同期比78.5%減）、売上債権の減少額が3億3,100万円（同25.4%増）、たな卸資産の増加額が5億500万円（同125.4%増）、前受金の増加額が2億3,900万円（同181.2%）、法人税等の支払額が1億3,700万円（同407.4%増）となったことなどにより、営業活動による支出が3,000万円（前年同期は1億9,000万円の収入）となった。投資活動によるCFでは、定期預金の減少額が2億4,000万円（同増加額1億1,000万円）、有価証券・投資有価証券の取得・売却・償還による差引支出額が3億200万円（同収入額1億1,200万円）、投資不動産の取得による支出が700万円（前年同期比97.8%減）となったことなどにより、投資活動による支出は1億1,700万円（同60.1%減）に。財務活動によるCFでは、配当金の支払額が9,400万円（同1.1%減）となったことなどにより、財務活動による支出は9,400万円（同1.1%減）になった。

**19年8月期の通期業績見通し**…19年8月期の通期業績については、売上高53億2,700万円（前期比17.9%増）、営業利益2億7,100万円（同18.6%増）、経常利益3億3,200万円（同24.2%増）、当期純利益1億9,200万円（同2.4%増）の見通しで、18年10月5日付けで会社側が発表した数値から変更されていない。1株当たりの年間配当金は前期実績と同じく25円の予定。

本レポートは、会社側が発表した決算短信や決算説明資料などに基づき作成しており、証券投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、証券の売買を勧誘する目的で作成したものではありません。株式の売買取引には、約定代金に対して手数料が必要となります。また、株式は、株価の変動により損失が生じる恐れがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなさいますようお願い致します。本レポートは各種データに基づいて作成していますが、その正確性・完全性を全面的に保証するものではありませんので、予めご了承下さい。なお、本レポートの著作権は西村証券に帰属しており、電子的・機械的などの方法を問わず、無断で本レポートを引用または複製、転送することを禁じます。

